

(別 表)

職場環境改善促進事業プロポーザル審査基準

提案者名				
審査項目		審査内容（要求内容）	配点	
大項目	小項目			
1 業務の実施体制	類似事業の履行実績	類似事業の履行実績などから、事業の運営を円滑に行うことが見込まれること。	10	
	専門知識・運営体制	運営スタッフの専門知識や業務の運営体制が整っており、事業の進行管理が適切に行えることが見込まれること。	10	
	個人情報の取扱い	個人情報の保護・管理が適切であること。	10	
2 業務内容	現状認識・基本方針	県内企業における多様な働き方の普及状況や課題、育児・介護に関する両立支援制度、国の助成金制度等について十分理解していること。	10	
	事業計画（スケジュール）	企業に対する多様な働き方の制度導入や子育て女性のインターンシップ受入れの働きかけ、幅広い情報発信がすべて仕様を満たした計画となっていること。	10	
	企業 に対する 働き かけ	アドバイザーによる企業訪問について	訪問する企業の選定方法、訪問する企業へのアプローチ手法等について、具体的かつ効果的な提案がされていること。	5
		情報交換会の開催について	情報交換会を開催するための企画、開催予定地について、具体的かつ効果的な提案がされていること。	5
		多様な働き方制度導入への専門的アドバイスの実施について	多様な働き方制度を導入するために必要な専門家の派遣について、具体的かつ効果的な提案がされていること。	5
		アドバイザーの労務管理	アドバイザーの勤務状況の把握、進捗状況の管理、成果の把握等の労務管理が適切であること。	5
	幅広い 情報 発信	啓発資料の作成・配布	それぞれの資料の特徴を活かして、有効な周知ができるよう、企画・構成、配布方法など工夫された提案がされていること。	5
		専用サイトの保守・管理	サイト管理に関する専門的知識を有し、情報セキュリティが確保されるとともに、効果的な情報発信が見込まれること。	5
		実現可能性	提案内容、スケジュール等から確実な実施が可能であること。	10
3 経済性	費用対効果	事業の実施に必要な経費が適切に見積もられ、事業内容や効果等からみて適切な範囲内であるとともに、県予算の範囲内であること。	10	
合計得点			100	